

印税管理システム開発へ

メディアアドウと光和コンピュータで

メディアアドウと光和コンピュータはこのほど共同で、紙版と電子版の売上げや印税を管理するシステム開発に乗り出すことで合意した。両社が始めてタッグを組む。

膨大化する印税管理は出版社の課題になっている。ブラウザベースのクラウドサービスとして提供することで、事務作業の効率化とコスト削減に寄与する考えだ。

電子版の印税は通常、製作部数で確定する紙版と異なり、実売部数に基づいて算出する。また、半永久的に販売継続する

特性もある。さらに電子書籍は1点ずつの販売だけではなく、「分冊・合本」「読み放題」など、多様な販売手段が存在し、今後新しい販売モデルが創出される可能性も高い。こうした背景から、中小規模の出版社でも安価で利用できるシステムを2社共同で開発し、サポートしていく。来年4月に製品化して販売を開始する計画である。

同サービスは経済産業省の「コンテンツのサプライチェーンの生産性向上に資するシステム開発を行う事業の支援」で採

択。これにより、補助金を受けて開発する。